

第75期事業のご報告

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

HOKUSHIN REPORT

株主の皆様へ

資源の有効利用とリサイクル、用途展開の提案と対話に注力



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

中期経営計画（H-CHALLENGE 2025）の最終3年目を迎え、「木と向き合い、未来を拓く」をスローガンにMDF（ミディアム・デンシティ・ファイバーボード）の特長を生かしたモノづくりと用途提案をさらに展開して参ります。

“木質資源を有効利用し、資源循環に寄与する”

“木質パネルの中でも抜きんてた均質性能の製品を供給する”

“高透湿性・高耐久性の製品で住宅高断熱化による壁内結露リスクを抑制する”

また、新たに中大規模木造建築への利用をターゲットとして「長尺・高強度の製品供給による省施工対応/「構造用MDF」のメリットを引き出す施工方法の提案」の活動を行います。

2022年度からの国土交通省の補助事業「住宅生産技術イノベーション促進事業」では、3年間の計画を完了いたしました。同事業で得た新たな高強度耐力壁・省施工時間の成果を市場に送り出すべく、建築設計に関わる方々との対話を行って参ります。

さらに今年度末には廃衣料のリサイクルに寄与する廃衣料繊維ボード（商品名「PANECO® board M」）の設備を導入し量産体制を整えます。

ユーザーの皆様そして原料供給の衣料側の方々との対話と提案を繰り返し、特色を生かした利用と持続的な循環システムの構築を図ります。

大阪・関西万博においても日本館をはじめとするパビリオンで「循環」を前提にした構造設計やリサイクル材の利用が取り込まれています。

住宅以外の中大規模建造物への木材利用をテーマにした「非住宅木造建築」などの展示会や講演会が開催されるようになりましたが、まだまだ「MDF」の認知度は低く、リサイクル可能・高耐久性・省施工など社会と地球環境への貢献に寄与する材料として差別化を図り、認知度向上と更なる改善に注力する所存です。

今後とも格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長執行役員
高橋 英明

見えた！繊維板の新たな「進化」の方向性

■ 国交省補助事業、無事完了

2022年（令和4年）より3年間にわたり取り組んできた、国土交通省「住宅生産技術イノベーション促進事業」の補助を受けた開発プロジェクトを、2025年3月をもって無事完了いたしました。

本事業は、住宅・建築分野の生産性向上を目的に、新技術やサービスの開発・実証を支援するものです。ホクシンではこの取り組みの中で、繊維板の新たな可能性を切り拓く成果を得ることができました。

■ 「高密度繊維板」×「特殊ねじ」で、高耐力かつ省施工の壁を実現

私たちが今回開発したのは、従来の性能を大きく上回る「高密度な繊維板」です。さらに、これを「特殊なねじ」と組み合わせることで、強度の高い耐力壁を実現しました。従来の施工方法に比べて、作業効率が大幅に向上する「省施工」も検証済み。施工現場の省力化に貢献するソリューションとしての展望を広げることができました。



■ 繊維板の“進化”の方向が明確に

開発を進める中で、高密度繊維板が持つ多彩なポテンシャルを再確認しました

- ・ **高密度化が容易**：他の木質素材にはない特性
- ・ **ねじとの組み合わせに多くの可能性**：新しい接合技術の展開も視野
- ・ **高い均質性と性能の安定性**：構造設計における信頼性向上
- ・ **圧縮への強さ**：「めり込み」対策としても有効
- ・ **リサイクル性**：廃木材を原料とした再資源化が可能
- ・ **優れた炭素固定効果**：「量」だけでなく「期間」の延長など脱炭素社会に貢献

これらの知見を通じて、繊維板がこれから進むべき「進化の方向性」が明確になりました。

■ 今後の展望：製品価値の確立と収益化へ

この3年間で得られた成果と知見を活かし、今後はより積極的にユーザーとのコミュニケーションを深め、「なくてはならない」製品・仕様としての地位を確立してまいります。また、新たな収益源として早期に実績化を図るべく、さらなる技術開発・市場展開に取り組んでまいります。

PANECO® board M

株式会社ワークスタジオとモリリン株式会社とホクシン株式会社は廃棄衣類繊維を原材料とする量産型繊維リサイクルボード「PANECO® board M※」の製造に関する基本協定書を2024年11月29日に締結いたしました。契約締結後は量産設備本格稼働に向け、協定書における各社の役割に順じて連続生産準備を進めています。具体的には廃棄衣類繊維の供給網の確立および当社既存MDF製造ラインを活かせる合理的な設備設計を検討中で、設備投資を行う協力会社のモリリン株式会社とともに協議して進めています。

※PANECO量産バージョン。少量（手作り）生産であるPANECO boardは「PANECO® board S」。

■ 量産開始時の製品 ～木を半量混合し、素材としての品質もアップ～

PANECOは原材料が廃棄衣類繊維であることから、木が主原料であるMDFと比較して強度は低くなる傾向があります。今回当社は量産に向けた取り組みを行うと同時に、板の品質にもフォーカスして開発を行っています。MDFメーカーである当社が取り組む廃棄衣類繊維の活用においては、木混合によって強度を担保することができるのではと考えました。木材を混合して生産することで、生産性が向上するだけでなく、当社既存製品との作り替え時のロス発生削減にも貢献します。当社のモットーである「もっと ずっと うまく」に根差した、持続可能な量産体制の確立を目指しています。

市場の開拓に関しても、モリリン社の既存販売してきたPANECO® board Sの販売ノウハウを活かしながら、社会実装を前提としたマーケティングにも取り組んでおります。

■ 今後

2027年の本格生産及び販売に向け、今年度は量産設備の準備、製品開発、マーケティングを行ってまいります。2026年度には設備設置が完了し、製品の先行販売が開始できるよう、モリリン社と協力しながらPANECO® board Mの市場投入を図ってまいります。

【工場試作の様子（2025年5月）】



廃棄衣類粉砕物



ファイバーマット



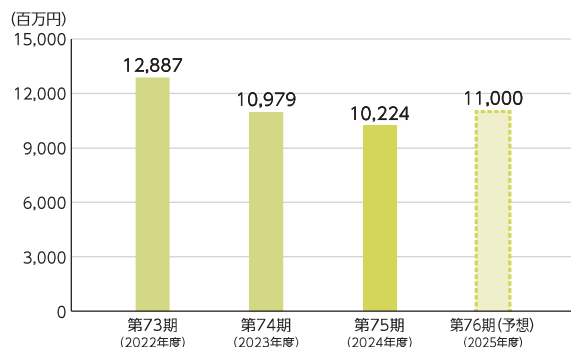
仮圧縮後マット



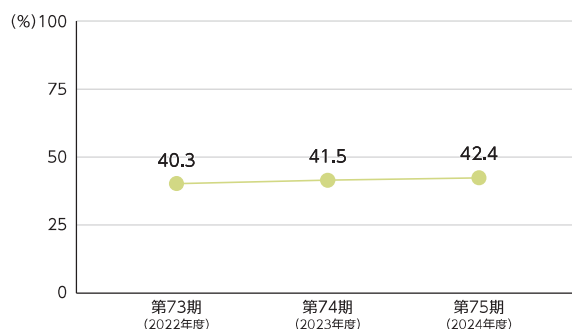
PANECO® board M
(0.93m×4.9m)

業績ハイライト

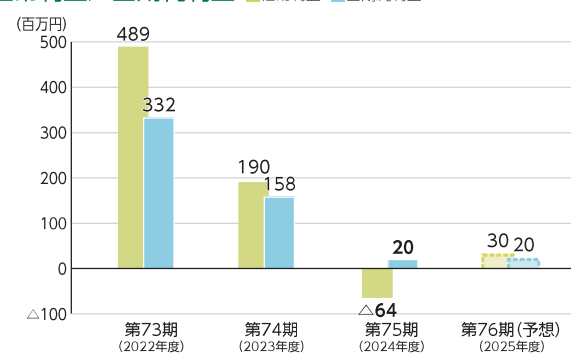
売上高



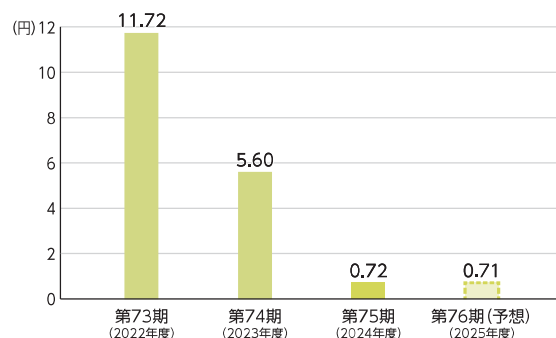
自己資本比率



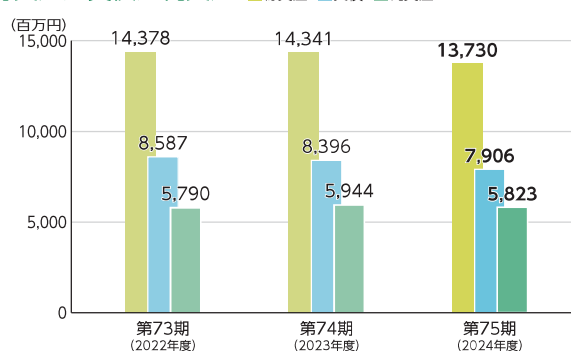
経常利益／当期純利益



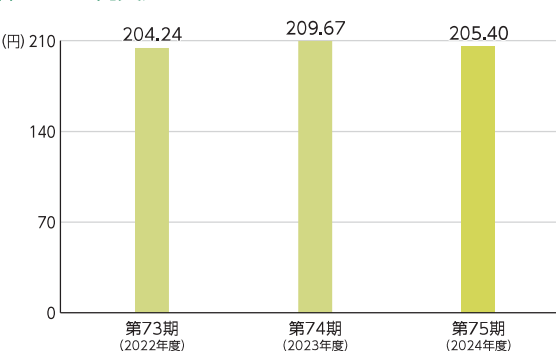
1株当たり当期純利益



総資産／負債／純資産



1株当たり純資産



会社の概要と株式の状況 (2025年3月31日現在)

会社概要

設 立	昭和25年6月21日
資 本 金	2,343百万円
本社・工場	〒596-8521 大阪府岸和田市木材町17番地2
事 業	MDFの製造及び売買
主要取引先	兼松ケミカル株式会社 双日建材株式会社 大建工業株式会社 SMB建材株式会社 TWH TRADING株式会社 丸玉木材株式会社

役員

(2025年6月26日現在)

代表取締役 (社長執行役員)	高 橋 英 明
取締役 (上席執行役員)	寺 田 恭 久
取締役 (上席執行役員)	廣 田 昌 俊
取締役	永 田 武 (社外)
取締役 (監査等委員)	山 田 公 徳 (社外)
取締役 (監査等委員)	澤 由 美 (社外)
取締役 (監査等委員)	桂 川 恵利子 (社外)
執行役員	池 本 輝 男
執行役員	池 田 茂
執行役員	日下部 大典

株式の状況

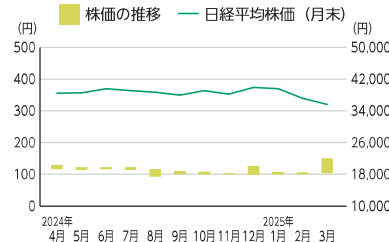
発行可能株式総数	99,713,700株
発行済株式の総数	28,373,005株 (自己株式20,863株を含む)
単元株式数	100株
期末株主数	7,163名 (前期末比927名増)

大株主

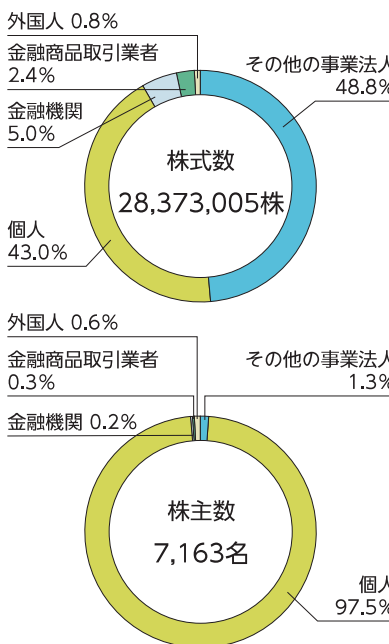
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
兼 松 株 式 有 限 公 司	7,522	26.53
大建工業株式会社	4,227	14.91
永大産業株式会社	1,000	3.53
ホクシン取引先持株会	941	3.32
酒 井 佐 知 子	728	2.57
國 分 節 子	710	2.51
中 島 和 信	674	2.38
株式会社池田泉州銀行	430	1.52
米 島 清 生	387	1.37
日本証券金融株式会社	342	1.21

(注) 持株比率は、自己株式 (20,863株) を控除して計算しております。

株価の推移



所有者別分布表



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
定時株主総会	毎年6月中に開催
基準日	(1)定時株主総会・期末配当 3月31日 (2)中間配当 9月30日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告して基準日を定める。
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	当社の公告はホームページに掲載する。 ホームページアドレス https://www.hokushinmdf.jp
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード

株式に関する手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

証券会社の口座に記録された株式		
お手続き・ご照会の内容	お問い合わせ先	
●単元未満株式の買取請求 ●届出住所・姓名などのご変更 ●配当金の受領方法・振込先のご変更	口座を開設されている証券会社	
●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座に記録された株式		
お手続き・ご照会の内容	お問い合わせ先	
●単元未満株式の買取請求 ●特別口座から証券会社の口座への振替請求 ●届出住所・姓名などのご変更 ●配当金の受領方法・振込先のご変更	特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
●郵便物の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	

(お問い合わせ先)
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
ホームページ <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>